

事業間優先度評価システム 評価シート

主要目標番号	I. I-3. (6)
対象事業	防災重点農業用ため池緊急整備事業
主要目標	洪水被害危険度の軽減

優先順位付けの考え方	対象地区・箇所名	個別事業の妥当性評価						事業間優先度の評価							事業間ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果	
		公共関与、事業執行主体の妥当性	経済効率性	事業実施、規模の妥当性	整備手法の有効性	環境負荷への配慮	事業計画の熟度	貢献度ランクの評価				副次効果ランクの評価							
								貢献度ランク	構造的危険度 点	下流への影響度 点			副次効果ランク	評点					
	池の平	○	○	○	○	○	○	a	76	12				1	4	SI			実施
	馬場堤	○	○	○	○	○	○	a	74	27				1	4	SI			実施
	大泉	○	○	○	○	○	○	a	70	26				1	4	SI			実施
	平井出	○	○	○	○	○	○	a	68	12				1	4	SI			実施
	平久保	○	○	○	○	○	○	a	68	9				1	4	SI			実施
	久保入・伊豆の宮	○	○	○	○	○	○	a	70	16				1	4	SI			実施
	大久保	○	○	○	○	○	○	a	86	37				1	4	SI			実施
既存施設の老朽化に伴い、施設の脆弱化が進行し、災害発生危険度が高い地区を優先する。																			
								基準値	67点以上	9点以上				基準値	4.0				

副次効果評価シート

主要目標番号		I, I-3(6)		主要目標に対応する副次効果項目	対象地区・箇所想定される副次効果	評価の説明	評価結果	
主要目標		洪水被害危険度の軽減						
評価対象地区・箇所名		地の平、馬場堀、大泉、平井出、平久保、久保入・伊豆の宮、大久保						
副次効果項目	I I-1 交通の利便性の向上	(1)	生活圏中心城市・拠点機能へのアクセス向上					
		(2)	市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上					
		(3)	市街地内の交通の円滑化					
		(4)	集落間・小規模拠点施設へのアクセス向上					
		I-2 生活環境の向上	(1)	森林機能の維持・向上				
			(2)	憩い空間の創出				
			(3)	生活排水処理機能の向上				
			(4)	良好な市街地空間の確保				
			(5)	適正な居住空間の確保				
	(6)		歩行者等の通行空間の確保					
	(7)		道路景観の向上					
	I-3 農林水産業の振興	(1)	農村生活・生産機能の向上					
		(2)	農業生産力の向上	●				
		(3)	農業用排水能力の向上	●	○	「農業用排水能力の向上」の評価指標によるランクa 【地の平】 用排水能力の向上率 1.0 ≥ 1.0 老朽度 1.5 ≥ 1.0 【馬場堀】 用排水能力の向上率 1.0 ≥ 1.0 老朽度 2.0 ≥ 1.0 【大泉】 用排水能力の向上率 1.46 ≥ 1.0 老朽度 1.25 ≥ 1.0 【平井出】 用排水能力の向上率 1.0 ≥ 1.0 老朽度 2.5 ≥ 1.0 【平久保】 用排水能力の向上率 1.22 ≥ 1.0 老朽度 2.5 ≥ 1.0 【久保入・伊豆の宮】 用排水能力の向上率 1.0 ≥ 1.0 老朽度 1.75 ≥ 1.0 【大久保】 用排水能力の向上率 1.17 ≥ 1.0 老朽度 2.5 ≥ 1.0	2	
		(4)	農林水産業経営の合理化(非公共)					
		(5)	森林整備の効率化					
		(6)	洪水被害危険度の軽減					
	II II-1 交通の安全性の向上	(1)	歩行者等の安全性の確保					
(2)		災害に強い道路の確保						
(3)		都市災害の防止						
(4)		交差点の安全性、円滑性の向上						
II-2 洪水・土砂被害の防止		(1)	洪水被害の防止					
		(2)	土石流被害の防止					
		(3)	崖崩れ被害の防止					
		(4)	地滑り被害の防止					
II-3 鳥獣被害の防止		(1)	鳥獣被害の軽減					
副次効果評価項目	交通利便性	交通ターミナル機能の強化						
		アクセス機能の維持						
		主要渋滞ポイントの解消						
	生活環境	水質の浄化						
		大気汚染の軽減						
		騒音・振動の軽減						
		良好な景観の創出						
		バリアフリー化の促進						
		ライフラインの強化						
		身近な緑地・交流の場の提供		●				
炊爨用水の安定供給								
糞尿の処理								
地域の文化・学習等活動の支援								
各種情報の円滑な提供								
自然環境	水源涵養機能の向上							
	生態系空間の再生							
	果樹園景観の保全							
事故・災害防止	防火帯・延焼遮断帯の確保							
	緊急時の避難・救助機能の確保							
	被災時の被害波及の防止		●					
	既存施設の崩壊危険性の排除		●	○	ため池堤体の崩壊に伴う宅地等への危険性の排除			
	走行安全性の確保							
生産性	林業所得の向上							
	遊休農地の解消							
	新たな公共用地の創出							
	農地の保全		●	○	ため池整備により、受益地の農地の保全が図られる。			
その他	農林産物の販売促進							
	自然エネルギーの活用							
	リサイクルの推進							
	文化・歴史的資源等の保存・復元							
副次効果評価項目	他事業との一体施工		●					
	重要プロジェクトとしての位置づけ		●					

副次効果評価点合計 4

注1)「主要目標に対応する副次効果項目」の欄に「●」が附されている副次効果項目のうち、「対象地区・箇所想定される副次効果」の欄に「○」を記入、「評価の説明」欄に具体的な評価内容を記入する。
 注2)副次効果の内、他の主要目標に該当するものは、当該主要目標内でのランク区分の基準に従いランク付けを行い、ランクaに該当するものは2点、ランクb以下の場合には1点とする。